

公益社団法人日本天文学会 代議員総会議事録

日 時：2016年1月10日（日） 13:00-17:00

場 所：東京八重洲ホール7階701号室

出席代議員：市川、井上、岡村、海部、河合、柴田、半田、馬場、福井、望月、吉田（道利）、渡部、縣、太田、櫻井、佐藤、杉山、寺澤、中川、林、牧島、松下、嶺重、百瀬（以上24名、欠席議員よりの委任状6名）

欠席代議員：梅村、奥村、小久保、常田、田村、吉川、犬塚、土居、吉田（直紀）、山田、観山（以上11名）

また、山下・中村庶務理事、柴田・熊谷会計理事、松原監事、佐藤事務長、黒岩職員、および坪井研究奨励賞選考委員長、野上天体発見賞選考委員長が出席した。

市川会長と望月・半田副会長は代議員を兼任している。

I. 確認事項など

議事に先立ち、出席代議員が24名、議長委任状が6件、合計30件で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。前交代議員総会（2015年9月10日）の議事録が確認された。また定款に基づき、以下のとおり議長と署名人の確認がなされた。

議 長：市川 隆

署名人：市川 隆

II. 報告

II-1 理事会（2015年12月20日）報告（山下）

2015年度事業報告書と決算書を本代議員総会に提出することを承認されたことが報告された。2018年秋季年会、2019年春季年会の開催地の募集を始める。

II-2 欧文研究報告編集委員の選任（山下）

欧文研究報告編集委員会委員1名（東京理科大学・鈴木英之氏）の退任と新委員として福岡大学の固武 慶氏を新委員として承認したことが報告された。

II-3 学会ウェブページについて（望月）

前会期ネットワーク委員会により学会ホームページの作成が進められていたが、会員へのお知らせのページが未整備、作成後の事務所内の運用体制などの理由から、望月副会長が責任者となって来年度に新たに仕切り直すことになった。前会期ネットワーク委員長等、関係者の了解を得ている。将来的に広報担当理事、ネットワーク理事等新たに増員するなどの体制の強化も検討している。当面の対応として、現行のホームページに「寄付のお願い」、また代議員から要請のあった「会長挨拶」、「歴代会長・副会長リスト」等の掲載を進めていく。この担当変更に伴い、2015年秋季年会記者発表は望月副会長が担当したが、今後の年会記者発表は半田副会長が担当することもあわせて報告された。

II-4 学術会議報告（岡村）

12月28日に天文学・宇宙物理分科会が開かれた。共同利用機関等（国立天文台、IPMU、宇宙線研、JAXA）の報告があった。大学教育の質保証の参照基準についての検討報告があった。共通の参照基準は大学学部の専門教育に限定することにして、物理学会の草案

に天文学会の草案からマージするのは最小限とし、日本天文学会としては、教養教育、アウトリーチなども含めた天文学を学ぶ意義に関する文章を別途作成する。共通の参照基準に対しては、春季年会で紹介し天文学会員の意見を聞く機会を設ける予定。電波天文学分野の将来計画について現状報告が宇宙電波懇談会からあった。

II-5 IAU 報告（資料 3、岡村、縣）

IAU 分科会のアウトリーチ活動について、「学会会議の後援」を得るための正式なフォーマットがあることが分かった。今後はそのフォーマットに従い、後援手続きをすることになる。

太陽系外惑星の命名について、237 の提案に対して 57 万を超える投票が 182 か国からあり、19 の惑星系の名称が決まった。日本からは 4 つの惑星系の名前が採択された。IAU シンポジウムを日本でより多く開催することについて議論があり、開催手続きを広く周知すること、また大きな国際会議を開催する場合に IAU シンポジウムに提案することを奨励するなど天文学会として働きかけてはどうかとの意見が出された。

II-6 シリーズ現代の天文学日本語版第 2 版の出版について（資料 4、熊谷）

シリーズ現代の天文学の英語版出版を進めている。英語訳の前に内容が古くなった部分を改訂したため、それを日本語版第 2 版として出版することも日本天文学会事業として進めたい。1 巻あたり平均 20～30 万円ほど学会で負担する。

II-7 第 4 期代議員選挙結果について（山下）

選挙の開票が 12 月 11 日に行われた。代議員選挙細則 11 条に基づき月報（1 月 20 日発行）に報告することになっているので、今回は本代議員総会では結果を報告しない。

II-8 オーラルヒストリーの事業化について（市川）

オーラルヒストリーは選定段階等で主観が入り、ヒストリーになりえないと判断し、天文学会の事業にはしないこととした。

II-9 年会時の記者発表について（半田）

学会の重要な事業であるので、積極的に立候補の働きかけをしてほしい。

III. 議題

III-1 公益社団法人日本天文学会 2016 年度事業計画の承認（資料 5、山下）

2016 年度の事業内容が説明された。天文普及教育顕彰制度の検討と天文遺産顕彰制度の検討、ウェブページの改訂事業が新たに加わっている。ウェブページ改訂については、まず運営・管理体制を十分考慮し、実現の見通しがたってから進める。キャリア支援委員会について理事が委員長になる等、実行体制の強化を学会として検討してほしいとの要望があった。以上の説明と議論ののち、全員賛成で承認された。

III-2 公益社団法人日本天文学会 2016 年度決算書の承認（資料 6、柴田）

2016 年度の決算の内容が説明された。一時的な費用増（シリーズ現代の天文学の日本語版出版補助、学会ホームページ、顕彰制度 WG の旅費）の説明、定常的な費用増（職員のベース給与アップ）の項目の説明がされた。以上の説明と議論ののち、全員賛成で承認された。

III-3 2015 年度各賞受賞の決定

林忠四郎賞（資料 7、櫻井）

林忠四郎賞、欧文研究報告論文賞選考委員長である櫻井代議員より、選考経過、及び最終候補者に宮崎聡氏を推薦する理由が説明された後、同氏に授賞することが全会一致で承認された。

欧文研究報告論文賞（資料 7、櫻井）

同じく選考委員長の櫻井代議員より選考経過、及び Ikejiri et al. (2011)、Usui et al. (2011) の 2 篇を推薦する理由が説明され、推薦通りに授賞することが全会一致で承認された。現在原則 5 年以内の論文が対象であるが、この 5 年というのが適切かどうか議論してほしいという意見が出た。

研究奨励賞（資料 8、坪井）

坪井研究奨励賞選考委員長より、選考経過、及び最終候補者に奥住聡、小野宜昭、田中雅臣の 3 氏を推薦する理由が説明され、推薦通り授賞することが全会一致で承認された。

天体発見賞・天体発見功労賞・天文功労賞（資料 9、野上）

野上天体発見賞選考委員長より、天体発見賞 7 名/1 グループ 25 件、及び天体発見功労賞 5 名 6 件、天文功労賞（長期部門）1 名 1 件、天文功労賞（短期部門）2 名 2 件の推薦理由が説明され、推薦通り授賞することが全会一致で承認された。

なお、板垣氏の PSN J15502534+1856075 の発見については、CBET の番号がないので、リファレンスに [http](http://) アドレスを付加することにした。

III-4 理事の選任（交代）について（資料 10、山下）

年会開催地理事の谷口義明氏（愛媛大）と山岡均氏（九州大）が異動することが決まったので、それぞれ後任として寺島雄一氏（愛媛大）と町田正博氏（九州大）が年会開催地理事に全会一致で選任された。任期は 2016 年 4 月 1 日からとする。

III-5 災害救助法適用の場合の会費免除細則の追記について（資料 11、市川）

会費細則 4 条の追記案が示され、全会一致で承認された。

IV. その他

年会の講演・研究奨励賞の賞金についての意見交換を行った。

●年会の発表資格について

年会での発表資格を会員のみに限るということについて、意見交換がされた。“現在の非会員講演を 1 回のみ認めるとするのは、わかりにくく、また確認も大変なので、もっと簡単にしたほうが良い。講演申込時に会員の手続きを同時にしてもよいのではないか。”などの意見が出された。

●年会の講演登録について

現行制度では事務処理に過度の負担がかかることが顕在化したので講演申込を電子投稿に限定したいが、会員の発表の権利を制限することになるので評議員による意見を聞いた。この理事会からの説明に対し、会員の権利を一部制限することにはなるが、全体の利益も大事であるなどの意見が複数出され、事務処理軽減化の方向で検討を進めることが支持された。

●研究奨励賞等の費用について

現在、研究奨励賞等の財源が非常に少なくなっている。どうするかを理事会で検討中である。会費から賞金を出す、賞金をなくす、の2案について意見交換を行った。

[資料リスト]

- 資料1 代議員総会出欠表
- 資料2 前回(2015年9月10日)代議員総会議事録(案)
- 資料3 IAU 報告
- 資料4 シリーズ現代の天文学第2版出版について
- 資料5 公益社団法人日本天文学会 2016年度事業案
- 資料6 公益社団法人日本天文学会 2016年度予算書
- 資料7 林忠四郎賞・欧文研究報告論文賞選考経過報告
- 資料8 研究奨励賞推薦理由書
- 資料9 天体発見賞・天体発見功労賞・天文功労賞候補者推薦書
- 資料10 理事の選任(交代)について
- 資料11 災害救助法適用の場合の会費免除細則の追記について

2016年1月10日

議長・署名人：市川 隆 印